

# 院内トリアージの実施について

当センターでは、小児急患診療として休日や夜間の急患診療を行っています。急患診療では、緊急度の高い患者さまに、速やかに医療を提供できるよう、院内トリアージを実施しています。

院内トリアージとは、診察前に看護師が症状や経過を確認することで、緊急度・重症度を判断し、より早期に治療を要する患者さまから優先して診察する方法です。

したがって、診察や処置の順番が前後する場合や、待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

※ 初診患者さまは、院内トリアージ実施料(300点)を算定させていただきます。(3割負担の方：300点×10円×3割=900円)

※ 院内トリアージ判定基準（日本版緊急度判定支援システム JTAS）

判定レベル	特徴例	待ち時間	再評価
レベル1-蘇生	高度の意識障害、ショック、重度の呼吸障害	直ちに診察	治療の継続
レベル2-緊急	心原性胸痛、激しい頭痛、中等度の意識障害	10分以内	15分毎
レベル3-準緊急	動くとき痛む胸痛、中等度の頭痛、変形のある四肢外傷	30分以内	30分毎
レベル4-低緊急	捻挫、意識障害のない頭部外傷、縫合のいる擦過傷	1時間以内	1時間毎
レベル5-非緊急	風邪症状、軽度の腹痛、擦過傷	2時間以内	2時間毎